



第295号

HYOGOニュース

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会
〒651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38
TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256
E-mail info@hamt.or.jp

編集委員
鳥居良貴 / 増井 裕 / 市丸加奈子 / 石野瑠璃
小松敏也 / 松田武史 / 真田浩一 / 藤本宏巳

臨床検査情報センター
URL <http://www.hamt.or.jp>

今月の内容

- “会長に就任して” 1
- 平成26・27年度役員名簿・新理事の紹介(理事就任にあたって)・《求人情報》 2～3
- 《行事予定表》 4～5
- 《各部局報告》・《賛助会員コラム》・ご案内 6～7

“会長に就任して”



(公・社) 兵庫県臨床検査技師会
会長 中町 祐司

昨今の医療や臨床検査の進歩は目覚ましく、iPS細胞を用いた再生医療や全ゲノム解析からの疾病予測などが目の前に迫っています。一方、医師の不足や業務の煩雑さから、臨床検査技師の果たす役割が重要視されるようになっていきます。また、臨床検査技師が、検体の採取から検査の実施そして検査の説明と一連の業務を責任をもって活躍できる環境も整いつつあります。一方、コンビニや薬局などでの簡易検査(検査測定室)のガイドラインが出されるなど臨床検査を取り巻く環境は大きく変化しています。

このような中で公益社団法人兵庫県臨床検査技師会は、臨床検査を通して県民に良質な医療を提供できるような環境を整備し、活動を行う必要があります。そのためには、兵庫県臨床検査技師会は臨床検査技師の一層の学術、技術レベルの向上を図り、県民が健やかで安心できる生活を保証するように努めると共に、臨床検査に関する情報はわかりやすく県民に広報し、更には臨床検査技師が新たなものに取り組むチャレンジ精神を培う環境が必要だと考えています。

具体的には次の点に重点を置き活動する必要があると考えています。

- ① 有益な研修や高度の研究発表会を行い、会員の学術・技術レベルの向上を図り、高度な臨床検査を提供すること。
- ② 県民に対し、臨床検査に関する情報をわかりやすく提供すること。
- ③ 精度管理事業を通じて県内施設の臨床検査の標準化および正確度、精度の向上を図ること。
- ④ 会員の交流、連携強化のための会員資質向上事業、会員への情報提供と会員間の情報交換を促進すること。
- ⑤ 日本臨床衛生検査技師会と符合した事業活動を行うこと。
- ⑥ 他の都道府県技師会や医療職団体などの他団体との交流を深めること。
- ⑦ 今年9月の日臨技近畿支部学会、2016年日臨技全国学会(IFBLS: International Federation of Biomedical Laboratory Science 国際学会、日本医学検査学会同時開催)を成功裏におさめ、臨床検査技師の国際化および学術や技術レベルの向上を図ること。

これらを実施するには会員の皆様のご理解とご協力が必要です。なにとぞよろしくお願いいたします。また、ご意見等ございましたらご遠慮なくお申し出ください。

平成26・27年度 役員名簿

役 職	氏 名	施 設 名
会 長	中 町 祐 司	神戸大学医学部附属病院
副 会 長	真 田 浩 一	県立西宮病院
	松 田 武 史	(医・社)神鋼会 神鋼病院健診センター
	井 垣 歩	兵庫医科大学病院
常務理事	精度管理担当	自 宅
	学術部長	姫路赤十字病院
理 事	事務局長	高砂市民病院
	総務部長	神戸大学医学部附属病院
	経理部長(精度管理事業部兼務)	神戸市立医療センター中央市民病院
	渉外部長(公益事業兼務)	市立加西病院
	広報部長	兵庫医科大学病院
	精度管理事業部長	姫路市医師会
	公益事業部長	神戸常盤大学
	組織部長(公益事業部兼務)	兵庫医科大学病院
	組織担当	神戸常盤大学
	組織担当	公立八鹿病院
	組織担当	北播磨総合医療センター
	組織担当	姫路市医師会
	経理担当(学術部兼務)	(株)兵庫県臨床検査研究所
	公益担当(学術部兼務)	兵庫医科大学病院
参 与	富 永 博 夫	自 宅
監 事	向 井 正 彦	神戸常盤大学
	近 藤 恭 弘	あさざり病院

新理事の紹介 (理事就任にあたって)

今回新しく理事に就任される方が7名おられます。今月から二ヶ月にわたり、ご紹介させていただきます。



平成26-27年度 新役員

総務部長 佐藤 伊都子 (神戸大学医学部附属病院)

この度、理事に就任しました神戸大学の佐藤と申します。総務を担当させていただくことになりました。初めての大役で期待に応えられるか不安一杯ですが、まずは会員の皆様より返信していただいた資料を元に名簿作製に尽力したいと思います。来月には近畿支部医学検査学会が神戸国際会議場で開催されます。また、2016年には国際学会も予定されています。学会運営という大きな行事を控え日々奮闘しておりますが、学会に参加して下さる全国の会員の皆様に少しでも満足していただけるよう“おもてなし精神?”でお迎えしたいと思います。皆様よりご指導とご鞭撻をいただきながら責務を果たせるよう精一杯努めさせていただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

精度管理事業部長 内川 昭文 (姫路市医師会)

この度、理事に就任し精度管理事業部を担当させていただくことになりました姫路市医師会の内川と申します。私は十数年県医師会の標準化事業に参画させていただきましたが、その間、県医師会と県技師会の精度管理調査が一本化され、年々測定法の標準化、結果値の収束化が図られ、施設間データの互換性が高まっています。医療における臨床検査の役割は非常に大きく、信頼性の高い検査値を提供できるよう日々研鑽に務め、精度の維持・向上を図っていく必要があります。

日臨技におきましても、「精度保証施設認証制度」が発足され精度が担保されているかの評価が客観的に行われ、検査室のモチベーション向上に繋がるものと考えます。

また、兵庫県臨床検査技師会も「公益社団法人」となり、県民の方々への啓蒙活動が行われるなか、検査における関心がより一層高まってきており、私たち検査を担う者の責任は大きなものとなっています。

今後私たちは、会員の皆様方、関係諸団体の方々のご指導、ご協力を得ながら技師会活動、精度管理事業に取り組んで参りたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

公益事業部長 坂本 秀生 (神戸常盤大学)

1992年に藤田保健衛生大学卒業、同大学病院で臨床検査技師として勤務後、同大学医学部に研究・教育へ携わり、その間に約7年ほど米国・ボストン市にて基礎医学研究に携わり、2009年に現職に就くと共に日臨技へ加入させて頂きました。

臨床検査現場を離れて久しい私が、全国で先駆けて公益社団法人を取得した本会の理事を務めさせて頂くことは恐れ多いですが、多様化やグローバル化が臨床検査技師にも求められており、これまでの経験が役に立つかも知れないとの思いで務めさせて頂きます。日本臨床検査医学会の東日本大震災対策委員会では委員長を務め、日臨技からは人的支援として、約二ヶ月にわたって被災地の陸前高田市で臨床検査業務を行って頂きました。人的支援に代表される本会の公益事業は秀逸であり、先人の皆様が築かれた数々の功績をさらに発展できるよう、公益事業部長として本会の公益性を示す活動を進めて参りますので、よろしくお願い致します。



後列左から衣笠理事、内川理事、坂本理事
前列左から佐藤理事、小西理事、澁谷理事、池本理事

求人情報

* 詳細は求人先に各自お問い合わせください。

●こやまクリニック

交 通：神戸電鉄山の街駅下車 徒歩10分
採用条件：正社員・アルバイト
業務内容：検査業務全般
連絡先：078-581-1123 (事務長 遠藤)

●(株)兵庫県臨床検査研究所

交 通：JR姫路駅下車 バス30分
採用条件：正社員・臨時職員
業務内容：臨床検査業務
連絡先：079-267-1251 (川嶋)

●済生会兵庫県病院

交 通：神戸電鉄岡場駅下車 徒歩10分
採用条件：正社員
業務内容：検査業務全般
連絡先：078-987-2222 (総務 前出)

●(医社)さくら会 高橋病院

交 通：JR鷹取駅下車 徒歩3分
採用条件：正社員
業務内容：生化学・血液・生理・一般・心カテ検査等
連絡先：078-733-1136 (事務室 東・福原)

●(医社)一陽会 服部病院

交 通：神戸電鉄恵比須駅下車 徒歩2分
採用条件：正社員
業務内容：検査業務全般
連絡先：0794-82-2550 内線282
(総務課 山本)

各局報告

組 織

第35回丹但地区研修会に参加して (6月22日)

平成26年6月22日、第35回丹但地区研修会が公立豊岡病院にて開催されました。

午前中の研修会では、若手技師による演題発表が半数以上を占めており、初々しさの中に緊張感があふれた研修会でした。日頃、顔を合わせる機会の少ない技師同士が交流を深めていただいたことも大きな成果の一つとなりました。午後の市民公開講座は、ドクターヘリ、ドクターカーを活用した攻めの医療で、地域や行政やコメディカルスタッフとの連携により全国に誇れる救急医療体制を構築された小林誠人先生(公立豊岡病院 但馬救命救急センター長)に講演していただきました。約1時間と短い時間ではあったものの、市民の方からの質問もあり、大変有意義な公開講座となりました。



小林 誠人先生

京川 美香 (公立豊岡病院)

今回本研修会に、入職して初めて参加させていただきました。

午前は、一般演題の研究発表会でした。演題のテーマは症例報告やメーカーの新技术の紹介等がありました。日々の業務では学ぶ事の出来ない分野の事を知る事で、検査を様々な方向から見る事の出来る良い機会となったと思います。また、多くの若い技師の方が発表されており自分自身刺激を受けました。今後も研修会に積極的に参加し、自身の臨床検査技師としての知識をより多く身につけたいと感じました。

午後からは、市民講座として但馬地域の救急医療について話を聞きました。私が特に印象に残ったのは、医師の中で救急の医師が一番少ないという事です。少ない医師の中で救急医療を発展させていく為にはどうすればよいのか、但馬地域の救急医療の現状を知ること、救急医療の在り方を改めて考えるきっかけとなりました。

最後に、今回お忙しい中このような研修の機会を設けていただきありがとうございました。この研修会で学んだ事を今後の仕事に生かしていけるよう、日々精進したいと思います。

小林 千絵 (公立豊岡病院)

本研修会に、今回私は初めて参加させていただきました。

午前の部では各病院から様々な分野にわたる研究発表が6題と、メーカーの方から2題の研究発表がありました。私は今年から臨床検査技師として働き始めたばかりで、今担当させていただいている生理検査以外の分野に関しては特に知識が浅かったのですが、どれもとても聞きやすくまとめられた発表で興味をひかれるものでした。今回私はこの研修会に参加できたことで臨床検査技師として多分野にわたる知識の必要性を再確認するとともに、この研修会がより一層自らを奮起させる大変よいきっかけとなりました。

午後の部では小林先生による市民公開講座が開かれました。『「医」の原点・チーム医療としての救急医療』というテーマで但馬地域の医療体制の現状や直面している課題、また、ドクターヘリやドクターカー導入による救命率の向上についての講演でした。地域医療の向上のためにはなにより地域住民の方々の理解と協力が必要であり、医療従事者と地域住民とがともに協力し合うことでよりよい医療の場がつけられ、さらなる発展につながると思います。

最後になりましたが、今回の研修会の開催にあたって準備にあたられたスタッフの方々、発表をされた方々、小林先生に感謝し御礼申し上げます。次回の研修会にも是非参加したいと思います。まだまだ未熟ではありますが、いつかは自分も演者の立場として参加できるよう日々知識、技術の向上に励みたいと思います。本当にありがとうございました。



賛助会員

コラム [29]



ベックマン・コールター(株)

受け継がれしもの

仲栄真 盛和 (西日本営業部)

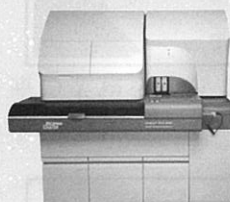
今回、コラムを担当致します「なかえま」と申します。珍しい名前だね、とよく言われますが父方が沖縄県出身で向こうでも数少ない苗字の様です。私は生まれも育ちも関西ですがこの苗字は同じ関西人である愚息たちに引き継がれるでしょう。

弊社名の「ベックマン・コールター」ですが 発明家であり創始者2名の名前が入っております。1人はコールター博士、もう1人はベックマン博士です。コールター博士は1947年、米海軍から「摩擦抵抗の少ない、ソナーに見つからない潜水艦用の塗料」の研究委託から始まり、数年後の1958年に世界初の血球計数装置を開発し市場にリリースしました。(塗料の粒子も血球の細胞粒子も同じ粒子測定の実理から発展です。)

一方、ベックマン博士は1934年「レモンジュースの酸度分析」の為に世界初のpHメーターを発明し、1941年には世界初の分光光度計も開発しました。

両氏のPioneer Spiritと創造した原理、技術は21世紀の今でも脈々と受け継がれ、進化し、現在も他社を含めた多くの分析機に引き継がれています。

昨年はコールター博士の生誕100周年にあたり記念すべき年でした。そして本年には、最大4台までの連結が可能な血液学装置の新製品もリリースしました(UniCel DxH シリーズ)。

UniCel DxH シリーズ
コールターセルラーアナリシスシステム免疫分析装置
UniCel Dxl 800

弊社のマークですが、DNAの「2重らせん」を表しており、幹となる臨床検査部門とライフサイエンス部門の2つの事業部も意味しています。ライフサイエンス部門では基礎研究で必須の超遠心機、フローサイトメーター等の開発、販売をしています。

私の所属する臨床検査部門では生化学、免疫、血液学の装置・試薬をメインとして製造販売をしています。弊社は、血液学・生化学だけでなく免疫分野にも注力しており、近畿では4大学病院様で採用され、大手検査センター様にもすべてご使用いただいています。弊社独自の項目としては、EPO(エリスロポエチン)等の貧血項目のほか、前立腺特異抗原PSAの前駆体proPSA 試薬*を今年5月に発売しています。(*研究用試薬)

また、静岡県の自然環境に恵まれた所に三島事業場があり、ここで開発、製造(主にAUシリーズ)、カスタマートレーニングなどを行っており、ショールームも完備しています。この場所から臨む富士山と駿河湾は絶景です。ウナギの産地としても知られ、社員も出張が楽しいエリアです。近隣では、大阪オフィスにもショールームがあり、多くの機器を展示していますので是非、来社頂き最新テクノロジーをご体感ください。



生化学自動分析装置AU5800と三島事業場

めらんじゅーるな空間 [4] は紙面の都合上、次月号に掲載させていただきます。お楽しみに。

●第34回精度管理調査の実施について

臨床検査の標準化、施設間差の是正等を目的に、今年度も精度管理調査を実施いたします。本調査は会員施設だけを対象としておりません。是非とも多くの施設に参加いただきたくご案内申し上げます。尚、試料の準備の都合がございますので、お早めに申述いただきますようお願い申し上げます。

申込締切日 平成26年9月1日(月) 試料配布日 平成26年11月4日(火)

内容、申込方法、参加費など詳細は案内またはHP等をご覧ください。